

「第6回 防衛力の実効性向上のための構造改革推進委員会」、
「第5回 人的基盤に関する改革委員会」及び「第17回 総合取得改革PT」
議事要旨

1 日時

平成23年8月4日（木） 1700～1730

2 場所

防衛省 A棟11階 第1省議室

3 出席者

小川防衛副大臣 広田防衛大臣政務官 西元防衛大臣補佐官 及川防衛大臣補佐官
事務次官 大臣官房長 防衛政策局次長（防衛政策局長代理） 運用企画局長 人事
教育局長 経理装備局長 地方協力局長 衛生監 技術監 鈴木審議官 筒井審議官
統合幕僚長 陸上幕僚長 海上幕僚長 航空幕僚長 情報本部長 技術研究本部長
装備施設本部長

4 小川副大臣冒頭挨拶

防衛力の実効性向上のための構造改革については、これまで各部会において精力的な検討が進められてきたところであるが、このたび大臣への中間報告案という形でまとめることができた。

本日、委員各位に御議論いただき、ご了解を頂ければ本委員会の責任者として明日にでも大臣に報告をしたいと考えている。

5 自由討議

報告書の中で軸になるのは指揮統制・基本部隊と諸計画体系の見直しになるのではないかと思う。特に、諸計画体系の見直しは防衛力整備に横串を入れて効率的に整備をしていくということであり、しっかりと検討していきたい。

限られた資源を効率的に配分するためには、陸・海・空自衛隊の横断的な検討は重要と認識しており、実現可能なものから直ちに具体化を図っていくべきである。

更に、人的基盤の検討については、これまでも議論を重ねてきたところ、マンパワーの重要性も踏まえつつ、検討を精力的に進めていくことが大事である。

報告書は東日本大震災の教訓も含まれており、喫緊の課題もあるのでフォローアップを全力で、積極的にやっていくべきである。

報告書に書かれていることはまさにロードマップであり、これから何をすることが大切である。これを成果あるものにするためには、ロードマップに沿って着実に進めていく

ことが必要であり、できるところから一歩ずつ進めていく必要がある。

論点整理や検討課題も多いので、全省的に検討を深めて具体化に向けて努力をしていきたい。

人的基盤の問題を考えた場合、国家公務員制度の改革との関係もあり、一般職の行程を注視しながら進めていく必要がある。

上級曹長制度を設けて、曹は曹クラスとして人事上のインセンティブを与えるということであれば、それに応じて栄典の対象についても検討する必要がある。

自衛隊の部隊機能や運用体制に関する在り方の検討状況について、国民に対して丁寧に理解を深めるよう説明を果たしていくことが重要。

今後のロードマップは今年度中に成果をしっかりと定め、方向性を見いだしていかなければならない。

人的基盤に関する制度改革の推進については、「人はコストではなくて戦力である」ということをしっかり踏まえて改革を進める必要がある。環境は非常に厳しく、様々な痛みを伴っていくことになると思うが、掲げたロードマップに沿って具体化をしていかなければならない。

衛生機能の強化については、これまで以上に十分な検討を行う機会を設けることができたのではないかな。

6 防衛力の実効性向上のための構造改革の今後の進め方について

防衛計画課長から今後の進め方について説明

小川副大臣発言

構造改革の各検討項目について、誰がどの分野を担当しているのかしっかりと分かりやすく明示して、政務三役をはじめ委員のメンバーが代わっても対応できる態勢を整えておいて欲しい。